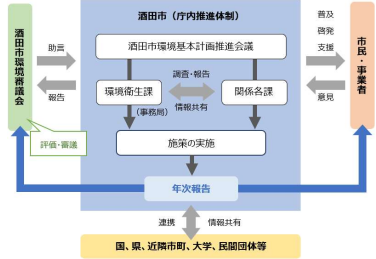


計画の推進体制

目指す環境像を実現するため、市民、事業者、市がそれぞれの役割分担の中で緊密に連携・協力しながら計画を推進し、環境審議会において進捗状況を確認します。

また、関係各課との情報共有や調査により、分野横断的かつ多角的視点に立った施策の推進をめざします。



SDGsと基本目標の関連づけ

計画の各基本目標をSDGsのいずれかのゴールに関連づけ、国際課題への対応と、環境、社会、経済に関わる複合的な課題解決の取組であること意識づけを示します。



概要版

第3次酒田市環境基本計画

2026-2030年度

計画の目的

酒田市環境基本計画（以下「本計画」という。）は、酒田市環境基本条例第8条に基づき策定され、同条例第3条の基本理念及び第7条の施策の基本方針に基づき、酒田市の環境の保全及び創造に関する施策の基本的な方向性や目標を定める環境行政の最も基礎となる計画です。

本計画は、第2次環境基本計画の成果と課題を踏まえた上で、近年の大きな課題となっている脱炭素社会への移行や循環型社会の形成、循環経済への転換、自然共生社会の構築といった社会的要請に対応することを目的に策定するものです。

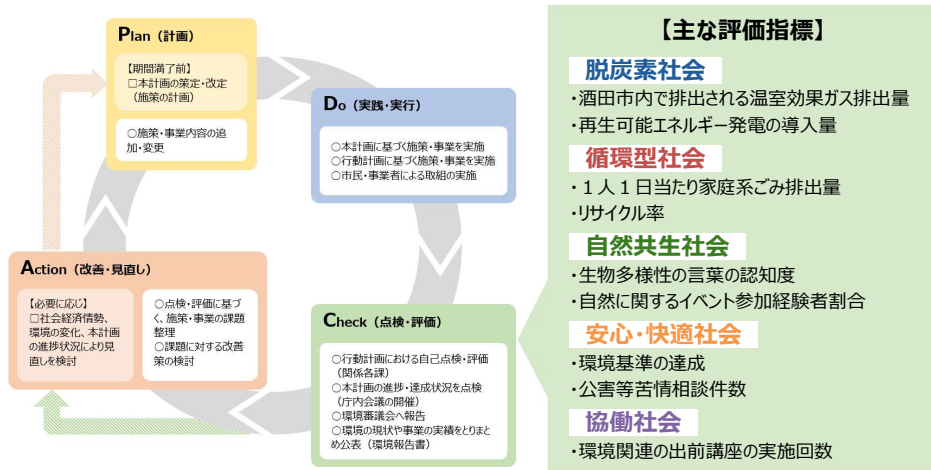
計画策定に向けた視点

- ① ウェルビーイング/高い生活の質
- ② カーボンニュートラル
- ③ 循環経済（サーキュラーエコノミー）
- ④ 自然再興（ネイチャーポジティブ）

進行管理の方法

本計画では、PDCAサイクルによる継続的な進行管理を行い、施策の推進を図ります。

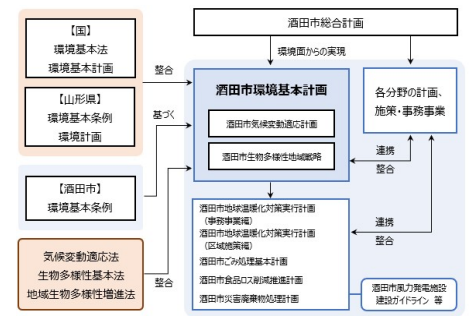
計画の点検・評価は、基本目標ごとに設定された評価指標を用いて実施し、各種計画に基づく施策・事業については、それぞれの部署における点検・評価を実施します。



計画の位置付け

市環境基本条例の基本理念の実現に向け、環境の保全及び創造に関する施策について、総合的かつ計画的に推進する基本的な計画で、中長期的な目標や施策の方向性を示すものとなります。

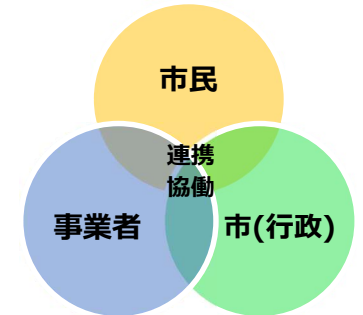
本計画には、酒田市気候変動適応計画及び酒田市生物多様性地域戦略を包含した計画として位置付けます。



計画の主体

本計画の推進主体は、市民、事業者、市となり、通勤・通学・観光等の滞在者にも及ぶことがあります。

市域を越えて広域的な取組が必要となる場合には、国、県、近隣市町との連携を図ります。



基本目標 **脱炭素社会**
地球環境に配慮した暮らしを実践するまち

2050（令和 32）年での二酸化炭素実質排出量ゼロを見据え、地域一体となって温室効果ガス排出量の大幅削減に取り組むとともに、気候変動の影響を低減する適応策も進めていくことで、地球環境に配慮した暮らしが実現するまちづくりを推進します。

地球温暖化対策

- 省エネルギー化の推進
- 再生可能エネルギーの利用推進
- 脱炭素型まちづくりの推進



気候変動適応策

- 気候変動影響への適応（酒田市気候変動適応計画）

こんなことに取り組みます

- 省エネルギーを推進します。
- 再生可能エネルギーの利用を推進します。
- 脱炭素の推進に関する情報の収集や対策を検討します。etc

基本目標 **自然共生社会（酒田市生物多様性地域戦略）**
豊かな自然環境と人が共生するまち

多くの恵みをもたらす自然環境は、多様な動植物種が息をするためには必要不可欠なものです。さらに、今日の酒田市の豊かな自然環境は、先人たちから継承されてきたかけがえのない財産でもあります。地域一体となって守り育てていくことで、自然と人が共生できるまちづくりを推進します。

生物多様性の保全

- 動植物の生息・生育環境の保全
- 生物多様性への理解の促進



持続可能な生物多様性の維持

- 良好な自然環境の維持
- 自然と触れ合う機会の創出



こんなことに取り組みます

- 生物の多様性の啓発や確保に努めます。
- 自然と触れ合う場や機会の提供に努めます。
- 地域の自然を活用した産業の振興に努めます。etc

目指す環境像と5つの基本目標

【目指す環境像】

未来につなげよう

酒田の自然・まちなみ・こころ

～豊かな自然と住みよい環境が作りだす



ウェルビーイングのまち 酒田～

基本目標 **安心・快適社会**
安心して快適に生活できるまち

健康的に暮らす上で不可欠な生活環境を健全に保ち、公害などの発生を防止し、安全に安心して快適に暮らせるまちづくりを推進します。

安全・安心な生活環境の保全

- 公害防止対策の推進と
監視・測定の実施

快適な生活環境の形成

- 身近な環境の美化
・利便性の向上



こんなことに取り組みます

- 身近な公害を防止します。
- 美観と景観を保全します。
- 動物の愛護と適切な管理を促し、対策に努めます。etc

基本目標 **循環型社会**
限りある資源を有効利用するまち

大量生産・大量消費・大量廃棄社会は、便利で快適な暮らしをもたらした一方で、資源の枯渇や廃棄物の増加など様々な問題を引き起こしています。限りある資源を無駄なく使い、環境への負荷を減らし、持続可能な社会を築くため地域一体となって資源循環型のまちづくりを推進します。

4 Rの推進

- ごみの発生抑制・再資源化の推進
- 循環経済への転換に向けた普及啓発

廃棄物の適正処理

- ごみの分別・収集・処理の適正化
- 不法投棄の防止



こんなことに取り組みます

- ごみの発生抑制・再資源化に取り組みます。
- 循環経済への転換に向けた普及啓発に取り組みます。
- ごみの適正化を推進し、収集運搬体制の充実を図ります。etc

基本目標 **協働社会**
みんなが協働して環境保全に取り組むまち

多様な主体との連携・協働、環境保全活動の推進役となる人材の育成を通して、環境の保全や創造に取り組んでいくまちづくりを推進します。

市民・事業者の環境意識の向上

- 環境教育・環境学習の推進
- 環境情報の発信と共有

環境保全活動の充実

- 協働による環境保全活動の推進



こんなことに取り組みます

- 環境教育・環境学習の機会の整備、充実を図ります。
- 環境情報の収集や発信に努めます。
- 市民や事業者が行う環境保全活動を推進します。etc